

大原孫三郎 実業家・社会事業家。{倉敷紡績}の社長を継いで以降、倉敷を拠点に極めて多くの社会的貢献を為した。

おおはらまごさぶろう

・ ・ ・ ・ ・ 1880 = 岡山県都窪郡倉敷村で、_倉敷紡績創業者大原孝四郎の三男に生まれる。

明治14年政変 1881 = 1歳 :

帝国憲法発布 1889 = 9歳 :

日清戦争始 1894 = 14歳 :

岡山の閑谷巒を経て、

八幡製鉄始 1897 = 17歳 : 東京専門学校(早稲田大学)へ進学するも、ほとんど通わずに遊蕩するうち、

子規句歌革新 1898 = 18歳 :

_足尾銅山の鉱害地を視察して、企業の社会的責任を痛感、中退して郷里へ帰る。

_石井十次に接してキリスト教に入信し、

田中正造直訴 1901 = 21歳 : 結婚するとともに、*_倉敷を東洋の聖地にすべく育英事業の大原奨学会や

教科書疑獄 1902 = 22歳 : 倉敷教育懇話会の設立など社会事業に奔走。

日露戦争始 1904 = 24歳 : 家督を継ぎ、

日露戦争終 1905 = 25歳 :

満鉄発足 1906 = 26歳 : *_倉敷紡績の社長となって、工場労働者の労働条件の改善や福祉向上に努める一方、

韓国反日暴動 1907 = 27歳 :

_倉敷絹織、三豊紡績、日本荏業、倉敷電灯、中国合同水力電気、中国銀行、岡山合同貯蓄銀行、中国信託、京阪電鉄などの社長、取締役にと就任して、岡山県産業の振興に尽くし、広く関西財界にも重きをなし、

明治天皇没 1912 = 32歳 :

第一次大戦始 1914 = 34歳 : 大原農業研究所(現在は岡山大学農業生物研究所)を創設、

民本主義 1916 = 36歳 :

ロシア革命 1917 = 37歳 : 石井十次の志を継いで、大阪に石井記念愛染園を設立、

ㄱ 財仁条約 1919 = 39歳 : 私財を投じて大原社会問題研究所を設立、

原敬首相暗殺 1921 = 41歳 : 倉敷労働科学研究所(37年東京に移転、現在は労働科学研究所)を創設して、多数の新進有能の学者らを招き、労働問題の究明に貢献、

関東大震災 1923 = 43歳 : 従業員のための倉紡中央病院を設立し、一般市民にも公開するなどしたばかりでなく、

第1次大戦後、_児島虎次郎に委嘱してヨーロッパの近代絵画を収集し始め、

治安維持法 1925 = 45歳 :

円本時代始 1926 = 46歳 : 倉敷絹織設立('49倉敷レイヨンと改称)。

金融恐慌 1927 = 47歳 : 昭和恐慌という未曾有の危機に、創業以来初の欠損を計上し、社会事業が道楽との批判を受けるも、岡山県倉敷小学校で、収集した現代フランス名画展を開催し、

海軍軍縮条約 1930 = 50歳 : *_最愛の妻に先立たれるという不幸のなか、大原美術館を創設、文化都市倉敷の基礎をきずくことになる。

満州事変 1931 = 51歳 :

五一五事件 1932 = 52歳 : 不況終焉とともに人絹ブームが到来し、再び発展。

帝人疑獄事件 1934 = 54歳 :

芥川直木賞始 1935 = 55歳 : 倉敷毛織を設立し、

日中戦争始 1937 = 57歳 :

日米開戦 1941 = 61歳 :

創価学会検挙 1943 = 63歳 : 没した。